

南海トラフでのプレート境界の地震

・安政南海地震（1854年12月24日 M8.4）

1854年12月24日に発生した安政南海地震は、四国の沖から紀伊半島沖にかけての沿岸部を震源域として発生したと考えられており、震度5相当以上の揺れは図1のように推定されています。被害については安政南海地震の前日に発生したとされる安政東海地震との被害の区別ができないものが多くあるとされています。（出典：地震調査研究推進本部 「日本の地震活動」）。

この地震で広島では屋根のゆれ幅が、1.6～1.7尺（0.5m）あったとされています（出典：「日本被害地震総覧599-2012」宇佐美ほか,2013）。

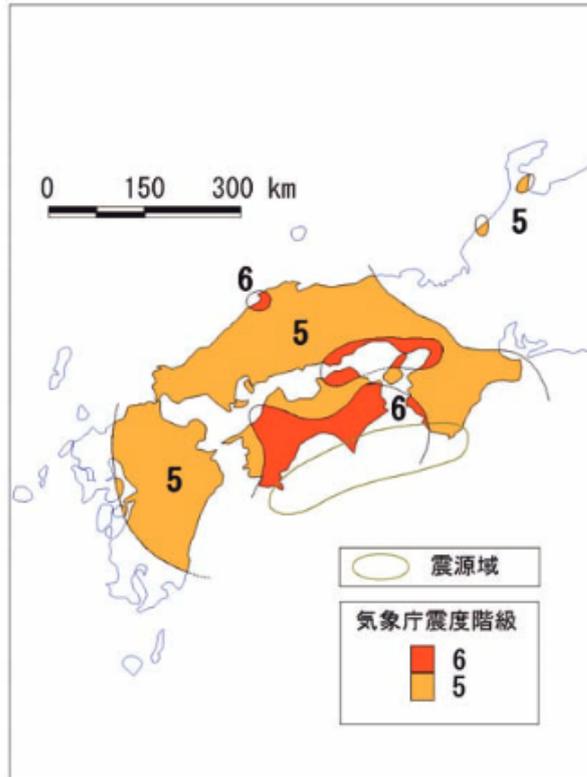


図8-4 安政南海地震の震度分布図

[宇佐美(2003)による]

図1 安政南海地震の震度分布図

(地震調査研究推進本部 「日本の地震活動」より)

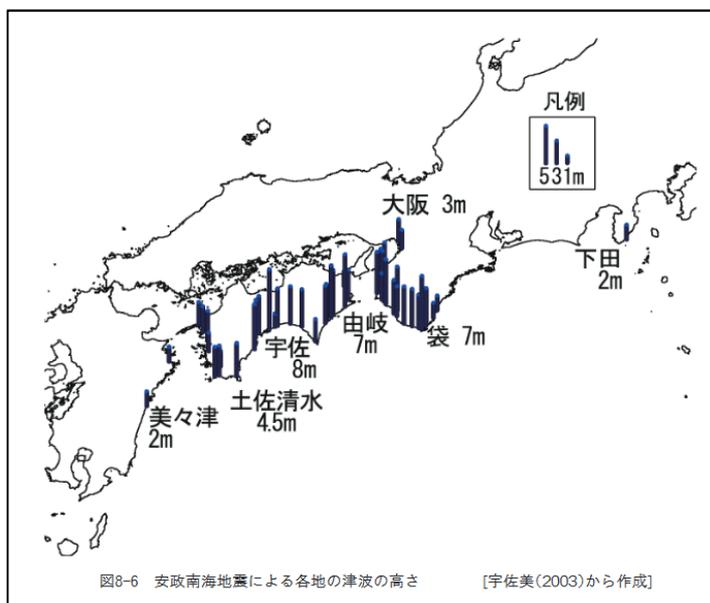


図8-6 安政南海地震による各地の津波の高さ

[宇佐美(2003)から作成]

図2 安政南海地震の津波高

(地震調査研究推進本部 「日本の地震活動」より)